



2025-26 年度 第2650地区スローガン
「未来へつなぐ」

第2650地区 [1961.3.28創立]

YAMATOTAKADA ROTARY CLUB

会 長	山 田 博
副 会 長	安 田 志 郎
幹 事	木 原 常 裕
会報・資料委員長	酒 本 良 司

クラブHP <http://yamatotakadarc.org/> アドレス ytrotary@abelia.ocn.ne.jp

地区HP <http://rid2650.gr.jp/> Facebook <https://www.facebook.com/yamatotakada.rc/>

例会日時：毎週火曜日 12時30分 例会場所：経済会館 3階大ホール
事務所：〒635-0095 大和高田市大中 106-2 経済会館 4階 TEL 0745-52-4366 FAX 0745-23-3823

第40回(通算3080回)2026年(令和8年)6月30日号

本日の例会(6月30日)

会長・副会長・幹事 退任 挨拶

次回の例会(7月7日)

会長・副会長・幹事 就任 挨拶
委員長 活動方針 報告(1)

6月23日の例会報告 会長の時間

例会は本日を含めてあと2回となりました。私は地元の歴史や文化などを中心に、会長の時間にお話しすることを探してまいりました。本日お話しするのは、淵田美津雄氏についてです。淵田氏は真珠湾攻撃で「トラトラトラ」と打電された方です。磐城村、現在の葛城市のご出身で、海のない奈良県のご出身ですが、海軍のパイロットとして航空隊を率いて真珠湾攻撃に参加されました。

彼は、終戦の際に「萬世ノ爲ニ太平ヲ開カムト欲ス」という天皇陛下のお言葉に心を打たれて、キリスト教に帰依し、平和の伝道者として憎しみの連鎖を絶とうと活動されました。その活動は日本にとどまらず、アメリカへも渡って布教を行われたそうです。

「トラトラトラ」という映画では田村高廣さんが演じておられました。書籍としてはPHP研究所から詳しいものが出ておりますので、ご興味がありましたらお読みいただきたいと思います。

我々の地域には、そのようなすごい方がおられたということをご記憶に留めていただけたらと思います。

幹事報告

◎新しいバナーが出来上がりました。本日より、1枚5000円で販売いたします。

◎新しい定款・細則ができましたので、ポスティングしております。詳しくは、後ほど桑研修・規定委員長よりご説明いたします。

◎地区からポリオの寄附のお礼が届いております。

次年度幹事報告

◎本日、次年度クラブ概況報告書の最終点検をしておりますので、ご確認をよろしくお願いたします。

◎臨時理事会のご報告

1. 社会奉仕委員会事業計画の件 承認
害虫から桜を守る事業計画について。
2. 親睦家族会概要報告の件 承認
令和9年2月20日(土)の親睦家族会について。
3. IMを例会扱いとする件 承認
9月27日(日)にあすかRCがホストクラブとして開催するIMがございます。例会扱いといたしますので、必ずご出席の程お願いいたします。
4. 地区大会の件 承認
令和9年4月4日(日)、地区大会が福井県で開催されます。こちらは例会扱いとはいたしません。
5. 青少年奉仕委員会事業計画の件 承認
6. 閉会点鐘の件 承認
次年度からは、通常の例会における閉会の点鐘及びお礼の言葉は副会長の担当となります。

創業記念日祝

喜多輝昌会員(6月25日)

永年在籍(2025-26年度)表彰

- 鵜山洋子出席委員会副委員長
- | | | |
|-----|--------|--------|
| 35年 | 下村敏博会員 | 吉田 暁会員 |
| | 脇本吉清会員 | |
| 30年 | 川中光教会員 | 佐藤佳雄会員 |
| | 中堀克己会員 | 吉村定義会員 |
| 20年 | 杉垣輝樹会員 | |
| 15年 | 堀川巴清会員 | 松村裕玄会員 |
| | 山田 博会員 | 吉川雅章会員 |

委員会報告及びその他報告

◎次年度プログラム委員会 松村實昭委員長
次年度委員長の皆様、7月は委員長活動方針報告をしていただきますので、ご準備の程よろしくお願いたします。なお、例年ですと第2週から始まるころですけれども、7月の例会が3週しかないため、会員増強、会計、S.A.A.につきましては第1週に回っていただきますので、お間違えのないようによしくお願いたします。

◎次年度ローターアクト委員会 山本忠行委員長
7月14日(火)に次年度ローターアクトクラブの所信表明例会を行います。新しい会長、メンバーを励ますためにぜひご出席の程よろしくお願いたします。

4つのテスト [言行はこれに照らしてから]

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるか どうか

ニコニコ箱

・各委員長様、1年間ありがとうございました。

- ・ちょっと良いことがありました。山田 博会員
- ・庭に大きいスズメバチの巣を見つけました。スズメバチには皆様もお気をつけください。世界大会にご参加の皆様お疲れさまでした。安田志郎会員
- ・台湾世界大会、無事参加してきました。参加いただいた皆様、ご苦労さまでした。木原常裕会員
- ・吉岡委員長はじめ会員の皆様にお世話になりました。ありがとうございます。吉岡弘修会員
- ・台湾での世界大会では、若手出席会員の皆様にお世話になりました。林田光治会員
- ・国際大会では、皆様大変お世話になりました。杉垣輝樹会員
- ・ロータリー国際大会に参加させていただいて。皆様ありがとうございました。酒本良司会員
- ・ニコニコ箱に協力。吉岡寛人会員
- ・娘が五位堂でワインショップ始めました。酒本将稔会員
- ・いいことがありました。松村裕玄会員
- ・松村和実会員

委員長活動報告(3)

○奉仕プロジェクト委員会

辻 修委員長



6つの奉仕委員会の皆様方には、大変ご苦労いただき、意義のある活動をたくさん展開していただきました。プロジェクト委員長として事業にあまり出席できなかったことをこの場を借りてお詫びいたします。

まず、社会奉仕委員会では、大和高田の名勝、高田千本桜の保全活動を行いました。また、職業奉仕委員会では、継続事業として、こども食堂に対する備品購入の協力等々を行いました。次に、青少年奉仕委員会は、當麻寺中之坊におきまして、写経・写仏等の事業を行いました。ロータリーアクト委員会では、設立30周年記念式典への諸々の支援等を行い、国際奉仕委員会では、先週、台北での国際大会に参加されるなど、様々な奉仕活動を展開されました。そして、米山奨学会、ロータリー財団委員会についても、それぞれ議論のあるところがいっぱいありますので、活発な活動を展開していただきました。

6つの委員会につきましては、互いに連携し、参加・協力し合いながら、しっかりと実績を残していただいていたと思っております。それから、これは大事なことです。次年度への継続事業としてもうまく流れを作っていたいただいております。

詳細につきましては、各委員長様、どうぞよろしくご報告願います。

○職業奉仕委員会

村井善治委員長



例年同様、エッセンシャルワーカー表彰とこども食堂への支援の2つの事業をいたしました。

まず、エッセンシャルワーカー表彰に関連して、高田警察署には高圧洗浄器、香芝警察署にはテント、高田市民病院にはAI搭載の録音機を寄附させていただきました。

きました。また、11月18日(火)の例会当日において9名の方に表彰をさせていただきました。

こども食堂に対する支援ですけれども、現地を視察いたしましたところ、当初支援していたときとは違って、かなりの人数の方がご利用になっていました。そもそもこの事業は、貧困層の子供たちのためにこども食堂を設けるということで支援を開始いたしました。しかし、そうなりますと、学校でこども食堂を利用している子供たちがいじめられることもあり得るということで、一般の子供たちにも呼びかけ、そして今ではお年寄りにも呼びかけて、多くの方がご利用になっています。

そうなってまいりますと、本来、ロータリークラブがこのこども食堂を支援してきた事業の目的から外れてきているようにも思われます。ですから、次年度からは生活が困窮し、本当に困っておられる家庭に支援をするような事業を検討していただければと思います。こども食堂に対しましては、次年度からは支援をさせていただくかどうかは分かりませんとお断りを入れておりますけれども、継続の可否につきましては次年度の皆さんでご検討いただければと思います。

○社会奉仕委員会

西田陽昭委員長



今年の事業としては、高田千本桜とともに発展してきた大和高田が再び元気あふれるまちになるようにという思いを込めて、高田千本桜を未来につないでいくための桜の苗木を植樹する活動をいたしました。

それともう一つ、昭和63年に先輩諸兄が大中公園に寄贈された、しだれ桜の整備を行うという計画を立てました。

まず1つ目につきましては、1月13日(火)の例会において、大和高田市長に寄贈をさせていただき、その後、桜に関する卓話を職員の方に行っていただきました。植樹については、2月26日(木)、27日(金)の両日に行いました。当初は、65周年を記念して65本の植樹を考えておりましたが、根付くかどうか様子を見ながら順次やっていくことになりましたので、今年は25本の苗木を植樹させていただきました。そのうち24本はソメイヨシノに代わるジンダイアケボノを植えて、残りの1本は、先輩諸兄が整備いただいた大中公園の一番北の端に、しだれ桜を植えさせていただきました。2月26、27日の両日は、本当に多くの方にご協力いただき、おかげさまで無事植樹することができました。

残り40本につきましては、来年、再来年と2年かけて大和高田市の職員さんをお願いすることになっております。それぞれにプレート掲げますので、来年、再来年につきましても、植樹いただいた後にはプレートを付けに行こうと思っております。本当にご協力ありがとうございました。

○青少年奉仕委員会

松村實昭委員長

今年度は、山田会長の方針もありまして、スポーツだけでなく文化事業を行っていく方針といたしました。11月9日(日)に當麻寺中之坊で、地域の歴史文化のお話をし、写経・写仏をしていただくという会を催しました。当初の予定よりもたくさんのお申し込みをいただいて、2部制になるぐらい盛況となりました。



保護者の方にもご参加いただき、山田会長のご挨拶では、ロータリーについて力強くPRいただくこともできました。

次年度は木下委員長に事業を受け継いでいただき、ラグビー等とともに文武両道でやっていただければと思います。

また、青少年奉仕委員会は、ローターアクト委員会と連携して活動しておりますので、今年度はローターアクトの30周年記念式典や満腹マルシェにも参加させていただきました。RYLAにもアクトから参加いただきましたので、例会で報告があると思います。1年間ありがとうございました。

○ローターアクト委員会 川中教正委員長

今年度も大和高田RCの皆様、スポンサークラブとしてご支援をいただきまして、ローターアクトクラブの活動を進めてまいりました。



月に2回の例会に加えて、特に今年度は創立30周年の年度として活動を行ってまいりました。

11月30日(日)には、今年度初めて、JR高田駅のロータリーを会場に、満腹マルシェを開催いたしました。20店舗ほどご用意し、数百人の方にご来場いただきました。出店いただいた店舗の皆様からもそれぞれ感謝のお言葉をいただきまして、無事に30周年の記念事業を行うことができました。

また、先日5月31日(日)には30周年記念式典を行いました。多くの皆様方にご参加をいただき、30周年を迎えることができました。アクト会員のメンバーも、大和高田にとどまることなく、2650地区の各ローターアクトに足を運んで、30周年のPRを行い、いろんな事業に参加して、結構アクティブに広く活動していただくことができました。

また、シンガポールでの国際貢献活動に3人が参加いたしました。

会員数も2年かけて、目標の2桁を達成することができました。本年度当初の7人に加えて、3人の増強を行いました。ただ、アクトは30歳で卒業になりますので、今年度最終例会をもって2人のメンバーが卒業いたします。ありがたいことに7月第1例会にはおそらく3人の新入会員を迎えることができそうですので、また10人を超えるメンバーで、次年度の活動をスタートしてまいります。

皆様方のご支援に感謝するとともに、次年度以降もローターアクトメンバー、そしてローターアクト委員会をご支援いただきますようお願いいたします。例会の後にメンバーを食事に連れてまいっておりますが、人数も増えてまいりましたので、そういった点につきましてもご支援していただきますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。1年間ありがとうございました。

○国際奉仕委員会 吉岡弘修委員長

国際奉仕の精神に基づき、国際交流に努め、友好親善を図るという方針で事業を行ってまいりました。まずは、4月14日(火)第5回クラブフォーラムにお



きまして、大和高田RAC竹岡会長よりシンガポールの国際大会について報告をいただきました。

また、同日お時間をいただきまして、リズモー西RCとの交流について、私からお話をさせていただきました。堀井巖議員のご紹介でマクラレーン・タズコさん

という方につないでいただきましたので、交流が復活する兆しがございます。秋には、脇本会員、高木会員を中心に数名の訪問団でリズモー市を訪れていただき、いろいろな意見交換をしていただくという方向になっております。ぜひまたいい交流ができればと思っております。

そして、6月12日(金)から15日(月)までの日程で台湾の国際大会に参加してまいりました。総勢13名が2泊3日組と3泊4日組の2班に分かれて台湾入りいたしました。3泊4日組は前日にゴルフをいたしまして、13日に合流し、14日の午前中、故宮博物館を見学した後に、午後から台北ドームで行われる本大会に参加いたしました。開会式では本当にすばらしい雰囲気を味わっていただきました。

その後、MRTという地下鉄に乗りし、南港展覧館、友愛の家で物産展等を見てまいりました。日程の都合上30分ほどしか時間がなく、他団体との交流ができなかったのは残念でした。

そして、夜は2650地区主催の晩餐会に参加いたしました。地区から350名の会員が集まり、顔見知りの方も多量中、6時から約3時間、宴会で大いに盛り上がりました。

今回は台湾という近場での国際大会で、かなり多くの日本人が参加されており、あまり国際色を感じない面もございました。我々についていただいた76歳のガイドさんは大変な日本通で、大いに盛り上げていただき、本当に楽しい時間を過ごすことができました。

最後に、事務手続等でご尽力いただいた事務局の皆さん、そして多大な支援をいただきました山田会長にも改めて感謝し、活動報告とさせていただきます。どうもありがとうございました。

○米山奨学会委員会 村野淳二委員長

10月28日(火)の例会で、ベトナムから来られた米山奨学生のメー・ティ・ロンさんに卓話をさせていただきました。大学で日本語を専攻されており、非常に流暢な日本語でお話をいただきました。この卓話の中で、「この奨学金がなければ、多くの時間をアルバイトに使わなければならない、研究や支援活動をする余裕はなかったと思います。私はこのご恩を決して忘れません。そして、将来、日本語教師として活躍できるようになったときに、次の世代と関わり伝えることが、私にできる最大の恩返しだと信じています」とおっしゃっていました。米山記念奨学金の存在価値を再認識させていただいたところです。本年もご寄附をいただきました皆様へ厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。



○ロータリー財団委員会

吉田 暁委員長



地区の年次基金は、例年、会費の形でいただいております。また、ポリオプラスにつきましては、本日地区より礼状が来ておりましたが、例会のときをお願いいたしまして、8万円ほど募金いただきました。ありがとうございました。

私は常々思っておりますが、大和高田RCは国際ロータリーに対する寄附金の額がかなり高いクラブです。2650地区でも10位ぐらいの位置にあります。ですので、地区の補助金を積極的に申請して、当クラブの事業の助けとしていくのがよいと考えております。本年度は、社会奉仕委員会の高田千本桜に関する事業に補助金をいただいております。既に次年度の事業以降の事業についても申請の努力をしております。皆さんご協力ありがとうございました。

○研修・規定委員会

桑 雅宣委員長



本年度は定款・細則について、大きく6つほど変更がございましたので、この機会にご説明させていただきます。

1ページ目からは定款が書いてありまして、こちらはRIで決めているロータリーの憲法みたいなもので、クラブとして変更することはできません。おめくりいただいて、ここにごきます細則が法律、内規が条例みたいなものだとご理解いただくと分かりやすいかと思っております。

変更の1点目は、15ページでございます。細則の第3条1節、会長指名についてという点です。本来ですと、会長が11月の初めに指名委員会の開催を宣言して、次の次の会長を11月の最終例会までに決めないといけません。そして、12月の総会で決議するという形でやってまいりました。しかし、3週間で決めるというのはなかなか難しいですので、山田会長からもご要望があり、今回変更となりました。次年度からは7月に入りましたら指名委員会を開くことができ、11月の最終例会までに次々年度の会長を決めるというふうになりました。

次の変更点は、17ページの会費についてです。従来24万円から28万円になりました。池木会長年度より、食費の上昇分として2万円ずつ特別徴収しておりましたので、新たに2万円の増額となりました。

19ページの奉仕プロジェクト委員会の項目に、国際奉仕委員会の下に米山奨学会が規定されてお

ります。そこに括弧付きで「(必要な場合に設置)」という文言を追加いたしました。米山奨学会を設置するかどうかということにはいろいろ議論がありますが、設置につきましては、当該年度の理事会が決めるということになります。また、青少年奉仕委員会の項目中に、青少年交換委員会というものがございます。こちらが必要な場合に設置という形になっております。その当時はやっておりましたが、今はございませんので、このような形で残しております。こちらも理事会において必要な場合にご検討願います。

26ページの決議についてですが、ロータリークラブの中で一番の決議機関は理事会となっております。注というところで、RI決定や定款・細則よりも理事会の決定が優先されるようになっております。また、会長や幹事が約束したことでも、理事会で却下されずとそちらの判断が優先となります。このような建て付けとなっていることをお知らせいただきたいと思っております。

内規の28ページに特別委員会について記載があります。先ほどご説明いたしましたように、次年度からは指名委員会が7月に始まり、次々年度の会長を決めてまいります。この際、「クラブの長期ビジョンに立って会長候補を決めていく」というふうに文言を変更しております。

29ページ目に、危機管理委員会について規定されました。この委員会は、セクハラ、パワハラや様々な社会的な問題が発生したときに、ロータリーとしてどう対応するかという特別委員会です。構成メンバーに会長が入っておりませんが、会長に不祥事があってもちゃんと対応できるように、裁判所のような独立した委員会を設けたということになります。

最後に32ページ、クラブ職員の事務局の皆さんの待遇について規定がされております。今までも、退職する際には、退職金や記念品を理事会で決めてお渡ししておりましたが、今回からは退職金引当金について明確に規定をいたしました。また、クラブ職員の皆さんの就業規則が今までございませんでしたが、こちらを整備しております。社会保険・労災・雇用保険に対応してまいります。昨年度の丸野幹事のご尽力で、タイムカードを導入し、労災保険と雇用保険に入ったのですが、社会保険にも入れる仕組みを整備いたしましたので、就業規則を設けて、今後はハローワーク等で事務局員を募集できるような体制づくりをいたしました。

今回は大きく6項目について変更させていただきました。次年度以降も引き続きよろしく願いいたします。

出席報告	会員総数	出席義務会員数	義務会員出席数	義務会員欠席数	義務会員MU	出席免除会員数	免除会員出席数	免除会員MU	出席率
6月23日	82	55	49	6	0	27	20	0	92.00%
6月9日	82	55	47	8	0	27	18	0	79.26%
6月2日	82	55	52	3	0	27	20	1	96.05%

※食品ロスの削減に努めましょう。(6月9日の弁当残数は5個)